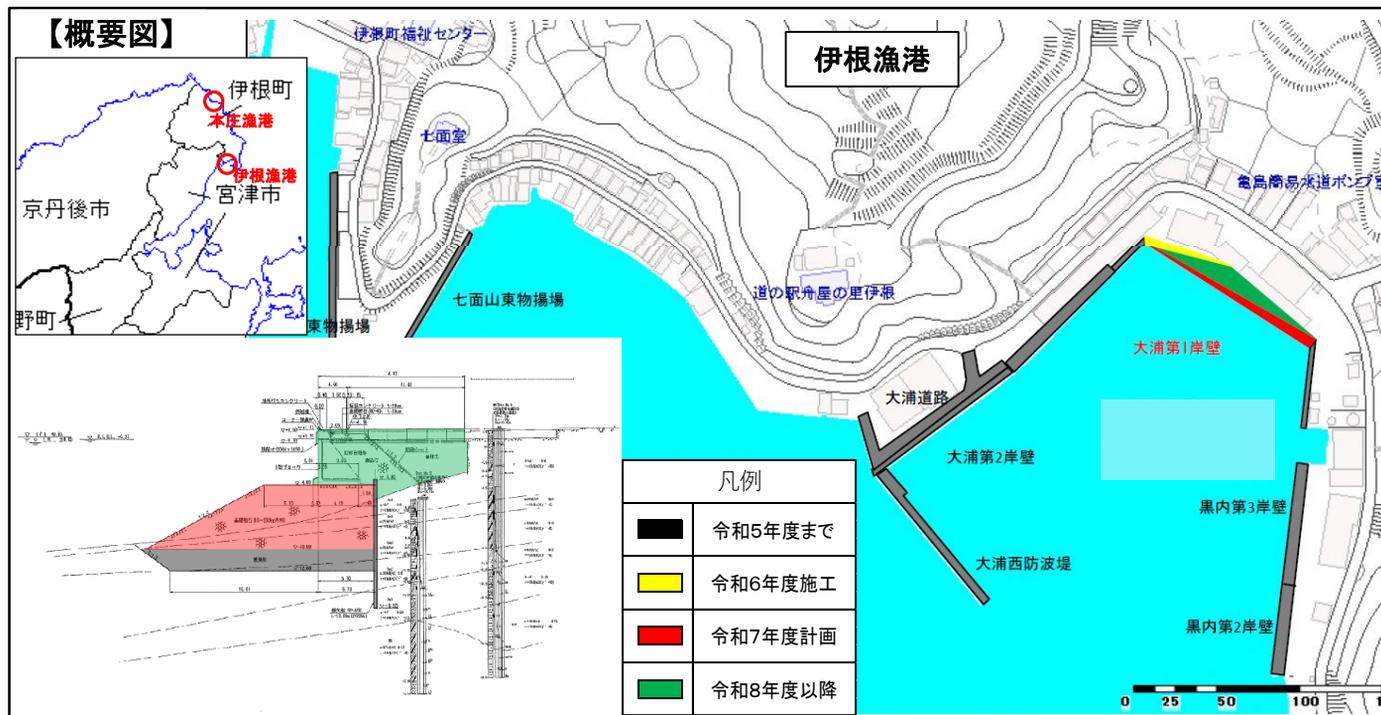


事業名	伊根町営 水産物供給基盤機能保全事業	事業概要	全体計画	①総事業費 1,637,551千円 ②事業目的 漁港施設の機能保全工事 ③事業内容 機能保全計画策定 保全工事の実施 ④事業期間 平成22年度～令和10年度			
地区名	イネ テク イネ 伊根地区[伊根漁港] (伊根町字平田、字新井、字蒲入)		6年度当初までの実績	①総事業費 887,551千円 ②事業内容 機能保全計画策定 保全工事(伊根漁港、本庄漁港)			
事業主体	伊根町		7年度計画 (6年度補正含む)	①総事業費 96,000千円 ②事業内容 岸壁工事 1式			
現況等	伊根漁港は古くから開けた天然の良港として整備され、伊根町の拠点的な漁港となっている。また新井漁港と本庄漁港も定置網漁業などの基地漁港として一定の整備が完了したが、老朽化の進んだ漁港施設もある。		負担割合	国:50%,府:16.7%,市町:33.3%,その他:0%			
事業効果	漁港施設の機能保全計画の策定を行い、機能保全工事を実施することにより、漁港施設の長寿命化を図りつつ、更新コストの平準化や縮減を図る。		年度区分	年度	R5まで	R6	R7 (R6補正含む)
コスト削減	計画的に予防保全を行うことにより、漁港施設に係るライフサイクルコストを低減する。	事業費(千円)		787,551	100,000	96,000	654,000
環境・景観への配慮	漁港施設の維持管理や保全工事の計画的な実施により施設損壊を回避、長期間健全な状態に維持することにより、周辺環境への影響を低減する。						



大浦第1岸壁 老朽化状況



大浦第1岸壁 全景